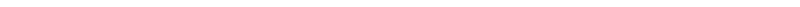


COMPAQ

WL215 無線 USB

クイックインストールガイド



ご注意

© 2001 Compaq Computer Corporation

© 2001 コンパックコンピュータ株式会社

Compaq、Compaq ロゴは、米国 Compaq Information Technologies Group, L.P. の商標です。

Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、本書に掲載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標です。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、また本書の適用の結果生じた間接損害を含めいかなる損害についても、責任を負いかねますのでご了承ください。本書の内容は、現状有姿のまま提供されるもので、いかなる保証も含みません。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。コンパック製品に対する保証は、当該製品に付属の限定的保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で 사용되는場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

以下の記号は、本文中で安全上重要な注意事項を示します。



警告：

その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがあるという警告事項を表します。

注意： その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。

WL215 無線 USB クイックインストールガイド

初版 2001 年 6 月

製品番号：249361-192

目次

第1章： 11 Mbps 無線 LAN について	1-1
概要	1-1
■ 11Mbps 無線 LAN ネットワークの概要	1-2
■ ピアツーピアワークグループ	1-3
■ 企業ネットワーキング	1-4
■ WL215 無線 USB の機能	1-6
CD-ROM について	1-9
第2章： WL215 無線 USB のインストール	2-1
はじめに	2-1
キットの内容の確認	2-2
Client Manager ソフトウェアのインストール	2-3
WL215 無線 USB を接続します。	2-5
ドライバのインストール	2-6
■ インストールを始める前に	2-6
■ 必要な知識	2-6

■ Windows のドライバのインストール	2-7
Windows ネットワークプロパティの設定	2-8
無線 LAN プロパティ	2-9
■ 構成プロファイル	2-10
■ 基本設定	2-12
インストールの終了	2-16
■ コンピュータの再起動後の手順	2-17
第 3 章： 11Mbps 無線 LAN および Windows の使用	3-1
概要	3-1
WL215 無線 USB の使用	3-2
■ 無線アンテナ	3-2
■ WL215 無線 USB を外す	3-2
■ WL215 無線 USB の保守	3-2
他のコンピュータの表示	3-3
Client Manager の使用	3-5
■ 無線リンクの質の表示	3-6
■ WL215 無線 USB 設定の表示／変更	3-8
詳細情報の検索	3-10
第 4 章： 拡張構成	4-1

概要	4-1
[Advanced Parameters] タブ	4-2
[Admin Parameters] タブ	4-3
付録 A： 仕様	A-1
物理仕様	A-1
電源特性	A-2
ネットワーク特性	A-2
規制に関する情報	A-3
■ 無線特性	A-4
付録 B： トラブルシューティング	B-1
概要	B-1
一般的なトラブルシューティングのヒント	B-2
■ LED の動作	B-2
■ ネットワークに接続できない場合	B-5
■ LED が作動するのにネットワークに接続できない場合 ..	B-6
■ 構成プロファイルを編集できない	B-10
Windows 98/ME のトラブルシューティングのヒント ...	B-11
■ ドライバのアップデート	B-11

■ ドライバの削除.....	B-15
Windows 2000 のトラブルシューティングのヒント	B-19
■ ドライバのアップデート.....	B-19
■ 既存の WL215 無線 USB ドライバの削除.....	B-20

第 1 章

11 Mbps 無線 LAN について

概要

コンパクト 11Mbps 無線 LAN なら、無線コンピュータの運用は簡単です。無線ネットワークの構成も、今までになく容易になりました。

このマニュアルでは、ネットワークに簡単に接続できるよう、コンパクト WL215 の概要を説明します。構成方法については、最も一般的な方法を紹介します。

無線製品をインストールおよび管理するには、Microsoft Windows でネットワークオペレーティングシステムをインストールする手順について、実用的な知識があることが前提となります。

11Mbps 無線 LAN ネットワークの概要

WL215 無線 USB キットを使用すると、次を実行できます。

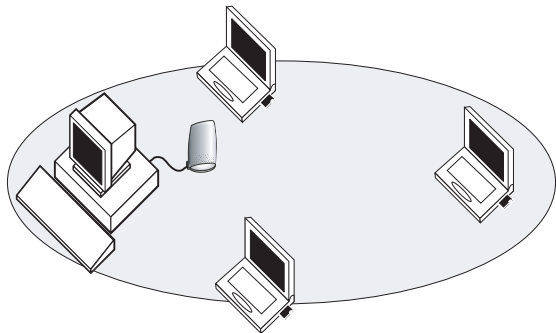
- 無線コンピュータデバイスのピアツーピアワークグループにコンピュータを接続する (1-3 ページ図 1-1 を参照)。
- コンパクト 11Mbps 無線 LAN アクセスポイントを含む LAN (Local Area Network : ローカルエリアネットワーク) インフラストラクチャ、または IEEE802.11 に準拠する他の LAN システムにコンピュータを接続する (1-5 ページ図 1-2 を参照)。

無線端末装置には、WL215 装置だけでなく、WL110PC カードおよび WL210PCI アダプタも装備できます。すべての 11Mbps 無線 LAN アダプタは、同じ無線機能を共有します。

ピアツーピアワークグループ

ピアツーピアワークグループを構成すると、小規模な無線ワークグループを瞬時に設定できます。このワークグループに参加するユーザーは、Microsoft ネットワークでサポートされる「ファイルとプリンタの共有」などの機能を使用してファイルを交換できます。

図 1-1: ピアツーピア無線ワークグループ



このオプションを使用して、アクセスポイントを使用できない環境（SOHO（Small Office/Home Office：スモールオフィス／ホームオフィス）環境など）に一時または特殊ネットワークを設定できます。

端末装置が互いに有効な範囲内にある場合、無線ネットワークを設定するには、この方法が最も簡単でコストをかけずに済みます。

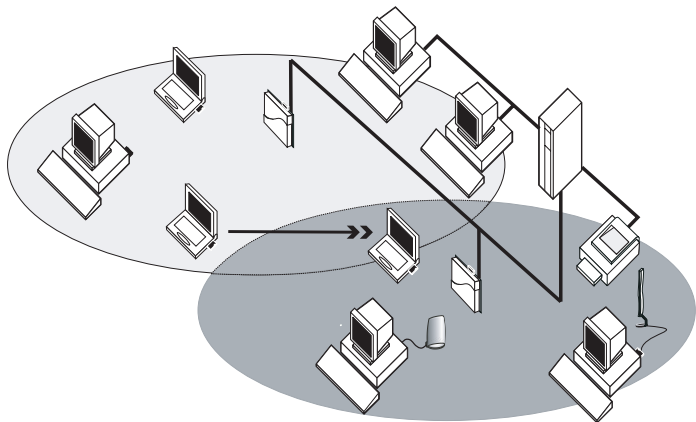
企業ネットワークキング

11Mbps 無線 LAN アクセスポイントを使用すると、社内の LAN（Local Area Network：ローカルエリアネットワーク）インフラストラクチャに接続して、すべてのネットワーク機器に無線でアクセスできます。

LAN インフラストラクチャには、次のいずれかを使用できます。

- スタンドアロン無線 LAN
- 図1-2に示されるような、既存のイーサネットネットワークに接続された無線ネットワークインフラストラクチャ

図 1-2: LAN インフラストラクチャ



操作は簡単

WL215 無線 USB は、標準の有線イーサネットカードと同様に機能しますが、ケーブルは必要ありません。

ハブまたはパッチパネル、あるいはその両方にケーブル接続を必要とするイーサネットカードの場合、ケーブルがあるために、有線接続した位置にコンピュータが物理的に固定されます。

11Mbps 無線 LAN では、無線の有効範囲内であればどこからでも LAN (Local Area Network : ローカルエリアネットワーク) システムにコンピュータを接続できます。ネットワークの拡張または再設計も簡単に行うことができます。アクセスポイント、または WL310 無線ホームオフィスゲートウェイ、あるいはその両方を追加または再配置して、コンピュータを起動するだけです。

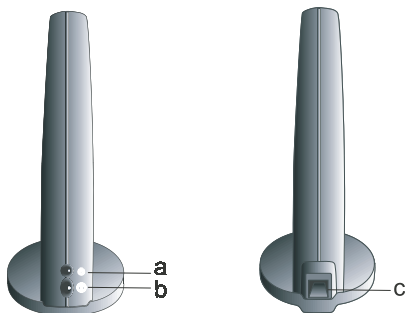
イーサネットと異なり、無線クライアントアダプタおよびアクセスポイントでは、LAN に接続したままでネットワーク全体をローミングできます。

注 : WL215 は無線製品です。各国で適用される規制については、『ユーザー情報』を参照してください。

WL215 無線 USB の機能

WL215 無線 USB は、USB ケーブルを介してあらゆる標準 USB コネクタに接続する、無線ネットワーク装置です。

図 1-3: WL215 無線 USBLEDs およびコネクタ



- a. 電源オン／オフ LED
- b. 無線 LED
 - 消灯 - 無線動作なし
 - 点滅 - 無線データの感知／転送
 - 緑色に点灯 - 標準の動作モード
- c. USB コネクタ

この WL215 には、次の特徴があります。

- WECA (Wireless Ethernet Compatibility Alliance) によって認定された Wi-Fi (Wireless Fidelity)。ご使用の 11Mbps 無線 LAN ハードウェアは、IEEE802.11 に準拠する他のベンダーの無線 LAN 製品と通信できます。
- 「無線 LAN の IEEE802.11 標準(リビジョン B)」に準拠する DSSS (Direct Sequence Spread Spectrum : ディレクトシーケンススペクトラム拡散) 無線技術に基づく他の無線 LAN システムとの完全な互換性
- ユニバーサルシリアルリビジョン1.1仕様(1998年9月23日)との互換性



WL215 では、次の無線 LAN 機能がサポートされています。

- 11、5.5、2、および 1Bit/s の範囲における自動転送速度選択メカニズム
- 自動周波数チャネル選択 (2.4GHz) による、複数チャネルでのローミング
- 電源管理
- 128-bit RC4 データ暗号化 (64-bit RC4/WEP (Wired Equivalent Privacy) もサポートしています)

CD-ROM について

CD-ROM には、WL215 無線 USB のソフトウェアおよびマニュアルの両方が付属しています。

ドライバおよびソフトウェアをインストールする場合は、「WL215 無線 USB のインストール」2-1 ページを参照してください。

注：ソフトウェアをコピーまたはインストールする前に、CD-ROM のルートフォルダに収録されたソフトウェア使用許諾契約書「License.txt」をお読みください。ソフトウェアをインストール、コピー、または使用した時点で、この契約書に同意し、制約に従うものとみなされます。ソフトウェア使用許諾契約書のすべての条項に同意できない場合は、ソフトウェアをダウンロード、コピー、またはインストールしないでください。

コンパクトでは、新しい技術、コンポーネント、ソフトウェア、およびファームウェアがリリースされた場合には、製品をアップデートすることを方針としています。

インストールする前に、Web サイト：

<http://www.compaq.com/support/files/networking/wlan/> を参照して次の操作を行うことを推奨します。

- 製品に付属するソフトウェアよりも新しいバージョンがあるかどうか確認する。
- 最新のソフトウェアをダウンロードして、購入した製品にインストールする。

第 2 章

WL215 無線 USB の インストール

はじめに

この章では、Microsoft Windows 98、ME および 2000 用の WL215 無線 USB のインストールについてのみ説明します。

WL215 のインストール

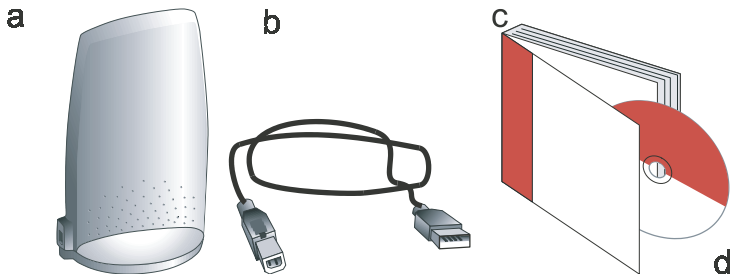
1. キットの内容を確認します (2-2 ページを参照)。
2. CD-ROM を挿入して、Client Manager ソフトウェアをインストールします (2-3 ページを参照)。
3. WL215 をコンピュータに接続します (2-5 ページを参照)。

4. 画面に表示された指示に従って、ドライバをインストールします (2-6 ページを参照)。
5. Windows ネットワークプロパティの設定 (2-8 ページを参照)。この作業は、コンピュータにネットワークアダプタを初めてインストールする場合にのみ必要となります。
6. 無線ネットワークに接続するための無線 LAN パラメータを設定します (2-9 ページを参照)。
7. インストールを終了します。ソフトウェアのドライブとディレクトリを指定して、システムを再起動します (2-16 ページを参照)。

キットの内容の確認

WL215 無線 USB キットを開けて、すべての内容が揃っていることを確認します。

図 2-1: キットの内容



- a. WL215 無線 USB1 枚
- b. USB ケーブル 1 本
- c. 『WL215 無線 USB クイックインストールガイド』（このマニュアル） 1 冊
- d. ドライバ、ソフトウェアと電子文書を含む CD-ROM1 枚
記載された内容が損傷しているか、または不足している場合は、販売業者に連絡してください。

Client Manager ソフトウェアのインストール

Client Manager プログラムは、ネットワーク接続の品質をチェックするためのソフトウェアツールです。

注： ネットワーク接続の確立において、**Client Manager** プログラムをインストールすることは必須ではありませんが、このプログラムをインストールした場合、次のオプションを実行できます。

- ネットワーク接続の設定の表示／変更
- ネットワーク接続のモニター

Client Manager ソフトウェアをインストールするには、次の操作を行います。

1. **WL215 無線 USB キット**に付属した **CD-ROM** をコンピュータに挿入します。
オペレーティングシステムが自動的に **CD** を起動させます。
2. 言語を選択します。
3. **[Compaq Client Manager ユーティリティ]** をクリックします。
4. 画面に表示された指示に従います。

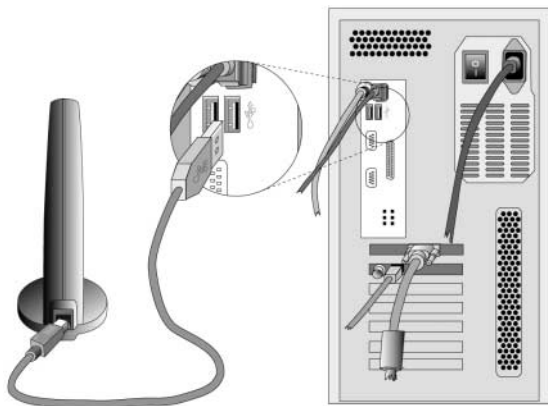
注： **CD-ROM** が自動的に起動しない場合は、次の操作を行います。

1. エクスプローラを起動します。
2. **CD-ROM ドライブ** を選択します。
3. 「**Run_CD.exe**」 ファイルをダブルクリックします。

WL215 無線 USB を接続します。

図 2-2 に示されるように、WL215 無線 USB をコンピュータに接続します。

図 2-2: コンピュータへの WL215 無線 USB の接続



注：コンピュータに複数のUSBスロットがある場合はどれに接続してもかまいません。

ドライバのインストール

インストールを始める前に

インストールを始める前に、Windows CD-ROM またはソフトウェアディスクを手の届く位置に置いておきます。ご使用のコンピュータに Windows オペレーティングシステムがあらかじめインストールされている場合は、これらのファイルはキャビネット (*.cab) ファイル形式でコンピュータのハードディスクに格納されます。

必要な知識

WL215 無線 USB をインストールするには、標準のイーサネットネットワークアダプタカードのインストールに必要な専門知識と同レベルの知識が必要です。標準的な Windows の操作およびネットワークアダプタカードのインストールについて、実用的な知識があることが前提となります。必要に応じて、Windows ヘルプを参照してください (Windows のタスクバーの [スタート] ボタンをクリックして、[ヘルプ] を選択します)。

Windows のドライバのインストール

ドライバをインストールするには、次の操作を行います。

1. Windows で [新しいハードウェアの追加] ウィザードが起動した場合は、[新しいハードウェア] ウィザードの指示に従ってドライバをインストールします。

ドライバインストールファイルを探すように指示された場合は、WL215 無線 USB キットに含まれる CD-ROM を選択し、ご使用のオペレーティングシステムに一致するフォルダに移動します。

- Windows ME:D:\¥Drivers¥Win_ME
- Windows 98:D:\¥Drivers¥Win_98
- Windows 2000:D:\¥Drivers¥Win_2000.

ここで「D:\¥」はご使用の CD-ROM ドライブのドライブ名を表します。

ドライバのインストールが終了すると、Windows によって [Add/Edit Configuration Profile] ウィンドウが自動的に表示されます。

2. 2-8 ページ”Windows ネットワークプロパティの設定”の説明に従います。

注：新しいハードウェアを検出できない場合は、B-1 ページ”トラブルシューティング”を参照してください。

Windows ネットワークプロパティの設定

ご使用のコンピュータにネットワーキングサポートを初めてインストールする場合、Windows オペレーティングシステムによって、コンピュータとワークグループ名を入力するようプロンプト指示されます。これらの名前は、Microsoft ネットワークコンピュータ上でユーザーのコンピュータを識別するために使用されます。

図 2-3 : Windows ネットワーク識別プロパティ



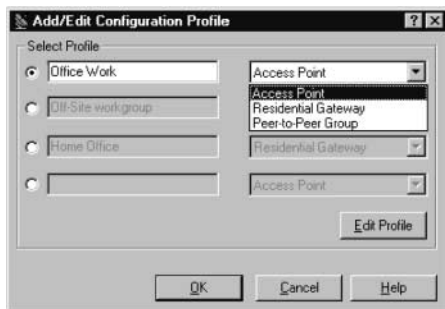
1. **[コンピュータ名]**フィールドに、コンピュータに付ける一意の名前を入力します。
2. **[ワークグループ]**フィールドにワークグループ名を入力します。
3. (オプション) **[コンピュータの説明]**フィールドにおいて、コンピュータを定義します。

Windows ネットワークプロパティの設定については、Windows のマニュアルまたは Windows のオンラインヘルプを参照してください。

無線 LAN プロパティ

ドライバをインストールすると、図 2-4 のように、WL215 無線 USB の [Add/Edit Configuration Profile] ウィンドウが表示されます。

図 2-4 : [Add/Edit Configuration Profile] ウィンドウ



構成プロファイル

[Add/Edit Configuration Profile] ウィンドウを使用して、1つまたは複数のネットワーク接続プロファイルを指定できます。たとえば、オフィス、自宅または特殊ワークグループのプロファイルを設定して、旅行中でも、同僚や友人同士でファイルを共有することができます。

各種ネットワークの詳細については、1-3 ページ「ネットワークオプション」を参照してください。

コンピュータを無線ネットワークに接続するには、次の操作を行います。

1. [Select Profile] でネットワークプロファイルに名前を割り当てます。
2. 右側のプルダウンメニューを使用して、無線ネットワークへの接続方法を選択します。
 - WL410無線SMBアクセスポイントまたWL510無線エンタープライズアクセスポイントにより、企業のネットワークへ接続する。
 - WL310 無線ホームオフィスゲートウェイにより、または
 - アクセスポイントのない無線端末装置の特殊ピアツーピアワークグループ
3. [Edit Profile] ボタンをクリックし、選択したプロファイルのパラメータを表示/変更します。

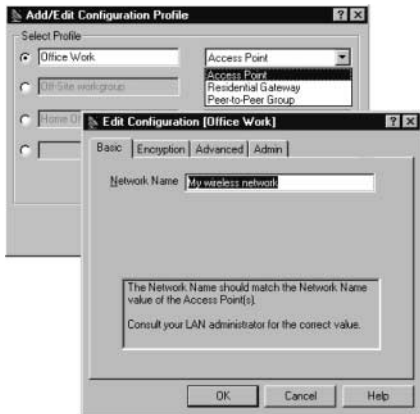
初めてインストールする場合は、基本設定のみを使用して単独のプロファイルを設定してください。

注： 指定するパラメータの数と種類は、選択した接続のタイプによって異なります。

各種オプションの詳細については、**(F1)** キーを押すか、または **[ヘルプ]** (Help) ボタンをクリックします。

各種オプションの詳細については、**[F1]** キーを押すか、または **[ヘルプ]** ボタンをクリックします。

図 2-5: [Edit Configuration] ウィンドウ



基本設定

無線ネットワークに接続するには、次を指定する必要があります。

- 有効なネットワーク名。
- (オプション) 有効な暗号化キー。

ネットワーク名

ネットワーク名は、大文字と小文字を区別する、「a」～「z」、「A」～「Z」および「0」～「9」の英数字文字列で表されます。これにより、ケーブルを使って有線コンピュータをイーサネット LAN に接続するように、無線 LAN に接続できます。有効な値は、コンピュータを接続しようとしているネットワークのタイプにより決まります。

- **WL310** 無線ホームオフィスゲートウェイに接続するには、**WL310** ゲートウェイ装置の底のラベルに印刷された 6 文字のネットワーク名を入力します。
- ピアツーピアワークグループに接続する場合は、ワークグループへの参加を許可された名前を入力します。
ワークグループを開始する場合は、最大 32 文字の英数字の名前を入力し、その文字列をワークグループ参加者と共有してください。
- アクセスポイントまたは **WL410** 無線 SMB アクセスポイント **WL510** 無線エンタープライズアクセスポイントなどの、に接続する場合は、LAN 管理者により定義された値を入力してください。

この値は、最大英数字 32 文字にしてください。

または、「ANY」（任意の大文字）を入力し、ご使用のコンピュータの周辺にある、IEEE 802.11 対応無線ネットワークへ接続できます。

暗号化キーの設定を行う。または、[OK] をクリックして確定し、[Add/Edit Configuration Profile] ウィンドウに戻ります。

暗号化キー

無線通信のセキュリティを拡張するには、無線データ暗号化を有効にすることもできます。

暗号化オプションは、選択された構成プロファイル（2-10 ページ）により異なります。

注意： 通信を可能にするには、すべての無線装置に同一の暗号化設定を行う必要があります。暗号化キーは大文字と小文字を区別しますので、注意して入力してください。

- WL310無線ホームオフィスゲートウェイへ接続する場合は、1つの暗号化キーを入力することができます。デフォルトの暗号化キーは、ネットワーク名の最後の5文字と一致します。

注意： WL310ゲートウェイの暗号化キーを変更しない限り、このキーは変更しないでください。

- ピアツーピアワークグループに接続する場合は、ワークグループへの参加を許可されたキーを入力します。
- アクセスポイントプログラムファイルにより企業 LAN へ接続する場合は、[Encryption] タブを使用して、英数文字または 16 進数のフォーマットのいずれかで、最大 4 つの異なるキーを入力できます。

LAN 管理者により定義された値を入力してください。

注： アクセスポイントと同じ順序で、正確にキーを入力してください。

Advanced Parameters

[Edit Configuration] ウィンドウからも、[Advanced] および [Admin] タブの拡張パラメータへアクセスできます。

これらのパラメータを変更する必要がある場合など、特別な状況下以外では、これらのパラメータにはデフォルト設定を使用してください。これらのパラメータの説明については、CD-ROM に収録されたオンラインヘルプファイルまたは「ユーザーガイド」を参照してください。

インストールの終了

”無線LANプロパティ”が終了したら [OK] ボタンをクリックして [Add/Edit Configuration] ウィンドウを閉じ、インストールを続行します。ドライバ構成データベースの設定が終了し、いくつかのファイルがご使用のハードディスクにコピーされます。

- Windows ファイルの場所を特定するよう指示された場合は、Windows インストール CD-ROM またはディスクエットのドライブとディレクトリを指定します。
- 以前に WL215 無線 USB をコンピュータにインストールしたことがある場合、ファイルのほとんどがすでにハードディスクドライブに存在します。Windows CD-ROM を使用できない場合は、[ファイルのコピー] ダイアログボックスに表示されたパスを次のように置き換える必要があります。
[C:¥Windows¥System] または [C:¥Windows¥].
- Windows オペレーティングシステムが、ドライバファイル (通常は「WLcomxx.*」または「WNcomxx.*」の文字で始まるファイル名) の場所を特定するよう指示された場合は、次のソフトウェアのドライブとディレクトリを指定します。

— Windows ME:D:¥Drivers¥Win_ME

- Windows 98:D:\¥Drivers¥Win_98
- Windows 2000:D:\¥Drivers¥Win_2000

インターネットからファイルをダウンロードした場合は、ファイルを保存したディスクドライブまたはディレクトリを選択します。

Windows によってファイルのコピーが終了すると、コンピュータを再起動するよう指示されます。[Yes] ボタンをクリックしてコンピュータを再起動します。

コンピュータの再起動後の手順

ドライバが適切にインストールされたかどうかを確認するには、ご使用の WL215 無線 USB の LED を確認します。



緑色の電源表示 LED が点灯：WL215 がご使用のコンピュータに接続されています。



緑色の無線表示 LED が点滅：無線動作中です。

その他のLEDの動作については、「B-1 ページ”トラブルシューティング”」を参照してください。

(オプション) 無線ネットワーク接続の品質をチェックするには、Client Manager プログラムを使用します (2-3 ページ”Client Manager ソフトウェアのインストール”参照)。

第 3 章

11Mbps 無線 LAN および Windows の使用

概要

この章では、次の項目の概要を説明します。

- WL215 無線 USB の使用
- 他のコンピュータの表示
- Client Manager の使用
 - 無線リンクの質の表示
 - WL215 無線 USB 設定の表示／変更
- 詳細情報の検索

WL215 無線 USB の使用

無線アンテナ

WL215 無線 USB に内蔵の無線およびアンテナは、障害物のできるだけ少ないオープン環境で最適に動作します。無線通信の有効範囲を最大限にできるように、WL215 無線 USB 装置を物で覆わないでください。

WL215 無線 USB を外す

WL215 無線 USB の無線接続が必要ない場合は、WL215 無線 USB を切断して取り外すことができます。

注意： WL215 無線 USB を取り出すと、ネットワークとの接続は失われます。WL215 無線 USB を取り出す前に、すべてのファイルおよびネットワークアプリケーション（電子メールなど）を必ず閉じてください。

WL215 無線 USB の保守

WL215 無線 USB をクリーニングするには、やわらかい湿った布でていねいに拭きます。WL215 無線 USB の損傷を避けるため、研磨剤を使用したり、装置を液体に浸さないでください。

他のコンピュータの表示

無線ネットワーク内で複数のベースの端末装置を稼動している場合、次の手順に従って、他のコンピュータを表示できます。


1. エクスプローラを起動します。
2. ファイルおよびフォルダのリストをスクロールダウンして、[ネットワーク コンピュータ]または[マイ ネットワーク]を探します。
3. [ネットワーク コンピュータ]または[マイ ネットワーク]をダブルクリックして、Microsoft のネットワークグループ内のすべての端末装置を表示します。
4. ネットワーク環境の他のワークグループを表示するには、[ネットワーク全体]アイコンをダブルクリックします。
5. ネットワーク環境において、他のネットワークオペレーティングシステム (Novell NetWare ネットワークなど) が動作している場合、[ネットワーク全体] ウィンドウには、そのネットワークオペレーティングシステムで利用できるサーバーも表示されます。

これらのサーバーをクリックすると、そのネットワークオペレーティングシステム用のユーザー名とパスワードを入力するよう指示される場合があります。

見つからない場合は、その他の無線コンピュータについて次の事項を確認します。

- 起動して、ネットワークにログオンされている。
- 次の項目に関して、同一の Microsoft ネットワーク設定で動作するように設定されている。
 - ネットワークプロトコル
 - 無線ネットワーク名
 - ワークグループ名

[コンピュータ名] または [ワークグループ] を表示または変更するには、次の操作を行います。

1. Windows タスクバーの  ボタンをクリックします。
2. [設定] をクリックして、[コントロール パネル] を選択します。
3. [コントロール パネル] ウィンドウで、[ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。
4. [ネットワーク設定] ウィンドウで、[識別情報] タブをクリックして、[コンピュータ名] または [ワークグループ] を確認または変更します。

注 : [ネットワーク] への変更を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。

他の端末装置との無線接続を確認するには、3-6 ページ”無線リンクの質の表示”を参照してください。

Client Manager の使用

2-3 ページ”Client Manager ソフトウェアのインストール”の説明に従って Client Manager をインストールした場合、Client Manager を使用して、次の操作を実行できます。

- ネットワークへの無線接続の質の確認
- ご使用の WL215 無線 USB の構成の表示／変更

Client Manager は、コンピュータを起動するたびに自動的に始動します。

画面の右下隅にある Windows タスクバーの [システムトレイ] に [Client Manager] アイコンが表示され、Client Manager プログラムを実行中であることが示されます。






- さらに詳細なステータスを表示するには、このアイコン上でマウスの左ボタンを 1 回クリックします。
- メニューにある他のオプションを表示するには、アイコン上でマウスの右ボタンを 1 回クリックします。

無線リンクの質の表示

Windows タスクバーの [Client Manager] アイコンを使用すると、ネットワーク接続のリンクの質を確認できます。

以下に表示されるすべてのアイコンの概要を示します。無線接続が良好または正常であることが[Client Manager]アイコンに示されない場合は、次の操作を行います。

表 3-1 [Client Manager] アイコン

アイコン	カラー	説明
	緑色	良好な無線接続
	緑色	正常な無線接続
	黄色	不安定な無線接続 無線信号が不安定です。次のいずれかの場所に近づいてください。 <ul style="list-style-type: none">• WL410 無線 SMB アクセスポイント、WL510 無線エンタープライズアクセスポイントまたは• WL310 無線ホームオフィスゲートウェイ

アイコン	説明	カラー
	赤色	<p>非常に弱い無線接続 非常に弱い無線信号です。ファイルを保存し、次のいずれかの場所に近づいてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • WL410 無線 SMB アクセスポイント、WL510 無線エンタープライズアクセスポイントまたは
	赤色	<ul style="list-style-type: none"> • WL310 無線ホームオフィスゲートウェイ <p>次のいずれかの理由により、無線接続できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 初期接続を検索中である。 • ネットワークの有効範囲外にある。
	ブランク	無線インタフェースが検出されない、またはピアツーピアネットワーク接続

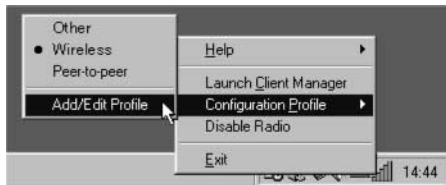
WL215 無線 USB 設定の表示／変更

別のネットワークまたはネットワークタイプに接続するときなどに、パラメータを表示または変更する場合は、次の操作を行います。


1. Windows タスクバーの [Client Manager] アイコンを右クリックします。
2. メニューから、[Configuration Profile] (図 3-1 を参照) を選択して、次のいずれかを選択します。
 - **Add/Edit Profile** : 新規プロファイルを追加するか、または既存のプロファイルを変更する場合
 - **One of the existing profiles** (ある場合) : 設定を表示または変更しないで、定義されたプロファイルを 1 つ選択する場合

別のプロファイルを選択した後、WL215 では、選択したプロファイルが使用され、無線ネットワークに接続されます。


図 3-1: 無線構成の編集



[Client Manager] アイコンが表示されない場合は、Client Manager プログラムを再起動する必要があります。

1. Windows タスクバーの  ボタンをクリックします。
2. [プログラム] をクリックしてから、[Compaq Wireless LAN] プログラムグループを選択します。
3. 次に、[Client Manager] を選択して、プログラムを起動します。

または、次の操作を行って、[コントロールパネル] から WL215 の設定を変更することもできます。

1. Windows タスクバーの  ボタンをクリックします。
2. [コントロールパネル] ウィンドウで、[Wireless Network] アイコンをダブルクリックします。
3. (オプション) 任意のパラメータを変更して、
 - [OK] ボタンをクリックします。
 - 変更を解除するには、[Cancel] ボタンをクリックします。

詳細情報の検索

このマニュアルの説明にない、さらに詳細な情報が必要な場合は、次のオプションの情報を参照してください。

- 無線システムのオンラインヘルプシステム - ソフトウェアおよびドライバの機能の詳細
オンラインヘルプシステムを表示するには、[Help] ボタンをクリックするか、またはキーボードの **[F1]** キーを、無線ソフトウェアのいずれかのウィンドウで押します。
- 『Wireless LAN Manager - User's Guide』 - 企業の LAN を設定、モニター、および管理する LAN 管理者用のリファレンスガイド
- Web サイト : <http://www.compaq.com> (英語サイト)、または <http://www.compaq.co.jp> (日本語サイト)

第 4 章

拡張構成

概要

WL215 無線 USB のインストール (2-1 ページ) で説明される基本設定で、WL215 無線 USB は、ほとんどのネットワーク環境で正常に動作しますが、アダプタの [Configuration] ウィンドウに表示される [Advanced Parameters] オプションから次のタブを選択することもできます。

拡張パラメータは、アクセスポイントに接続する構成プログラムファイルでのみ利用できます。

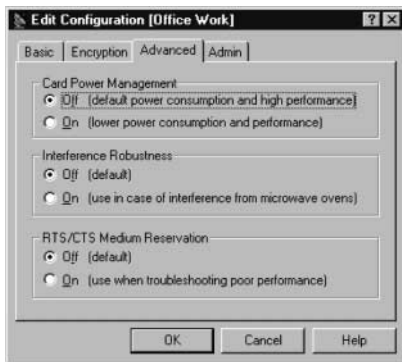
これらのパラメータがご自分の状況に適用できるかどうかについては、LAN 管理者にお問い合わせください。

詳細については、LAN 管理者にお問い合わせください。ヘルプファイルおよび『11Mbps 無線 LAN Manager Suite ユーザーガイド』も参照できます。

[Advanced Parameters] タブ

[Edit Configuration] ウィンドウのこのタブを使用すると、無線アダプタのパフォーマンスに関連するさまざまなパラメータを調整できます。

図 4-1: 拡張パラメータの設定



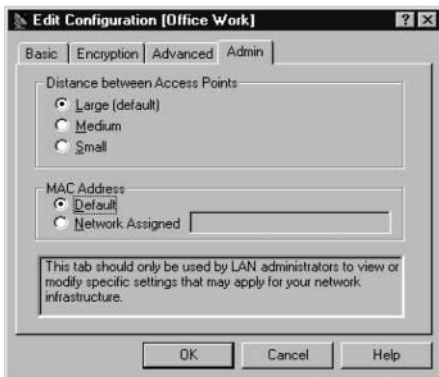
- Card Power Management（カードの電源管理）により、（モバイル）無線装置のバッテリーの寿命を延ばせます。
- Interference Robustness（干渉信頼性）により、電子レンジなどの装置からの受信妨害が原因と考えられる、パフォーマンスの低下を修復できます。

- RTS/CTS Medium Reservation (媒体予約) は、無線装置の動作の遅延を制御します。このオプションを有効化すると、次の場合のネットワークの信頼性を高められます。
 - 比較的少ない数のアクセスポイントを使って、多数の無線端末装置を動作させる場合
 - アクセスポイントでのフレーム衝突の多発によって、ネットワークパフォーマンスが低下した場合

[Admin Parameters] タブ

[Admin Parameters] タブにより、LAN 管理者は、アダプタ設定がネットワーク全体に適用する特定の設定に一致しているかを確認できます。

図 4-2: クライアント [Admin] パラメータの設定



- アクセスポイント間の距離により、ネットワーク内のアクセスポイントの数に対するネットワークパフォーマンスを制御できます。
- ネットワークオペレーティングシステムがローカルアドレスを必要とする場合、MAC Address (MAC アドレス) により、アダプタに MAC アドレスを割り当てられます。

付録 A

仕様

物理仕様

寸法	(縦 × 横 × 高さ)	63 × 89 × 145mm
重量	170g	
ケーブル長	100 cm	
温度と湿度（結露がないこと）		
動作時	0° ~ 40°C ^a	最大湿度 95%
移送時	-20° ~ 75°C	湿度 15 ~ 95%
保管時	-20° ~ 75°C	湿度 10 ~ 90%

- a. WL215 無線 USB は、-20°C ~ 70°C の範囲でも動作しますが、0°C ~ 40°C の範囲外での操作は仕様に準拠していません。

電源特性

省電モード	10mA
受信モード	245mA（公称）
送信モード	360mA（公称）
電源供給	5V

ネットワーク特性

互換性	<ul style="list-style-type: none">無線 LANS（DSSS）の IEEE 802.11 標準WECA（Wireless Ethernet Compatibility Alliance）によって認定された Wi-Fi（Wireless Fidelity）USB リビジョン 1.1.仕様
ホストオペレーティングシステム	Microsoft Windows 98, ME and 2000 : <ul style="list-style-type: none">NDIS5 ミニポートドライバ
メディアアクセスプロトコル	ACK（肯定応答）による CSMA/CA（Collision Avoidance：衝突回避）

規制に関する情報

無線通信は、多くの場合、国ごとの無線規制によって制限されています。無線ネットワーク製品は、認可を受ける必要がない 2.4GHz 帯域で動作するよう設計されていますが、使用する国によっては、無線通信装置の使用に関して無線規制によりさまざまな制限が課される場合があります。

注：各国で適用される規制については、「ユーザー情報」を参照してください。

無線特性

無線周波数帯域	2.4GHz (2400 ~ 2500MHz)
サポートされるサブチャンネル	1 2412
	2 2417
	3 2422
	4 2427
	5 2432
	6 2437
	7 2442
	8 2447
	9 2452
	10 2457
	11 2462
変調方式	ダイレクトシーケンススペクトラム拡散 CCK11 & 5.5Mb/s、2Mb/s 用 DQPSK およ び 1Mb/s 用 DBPSK
拡散	11 チップバーカーシーケンス
BER (Bit Error Rate : ビットエラー率)	10^{-5} 未満
公称出力	15dBm
暗号化	128- (RC4)、64-bit RC4/WEP (Wired Equivalent Privacy)

有効範囲／ 転送速度	11Mb/s	5.5Mb/s	2Mb/s	1Mb/s
オープン オフィス	160m (525ft.)	270m (885ft.)	400m (1300ft.)	550m (1750ft.)
セミオープン オフィス	50m (165ft.)	70m (230ft.)	90m (300ft.)	115m (375ft.)
クローズド オフィス	25m (80ft.)	35m (115ft.)	40m (130ft.)	50m (165ft.)
受信感度	-83dBm	-87dBm	-91dBm	-94dBm
遅延拡散 (FER <1%)	65ns	225ns	400ns	500ns

無線信号の有効範囲は、無線通信の転送速度と関連があります。転送速度が低い通信ほど、より遠くまで信号が届きます。

注：一覧表示される有効範囲の値は、コンパクト研究室で測定された標準的な距離です。これらの値は一応の目安となりますが、製品を取り付ける場所の実際の無線状況によって異なることがあります。

- 金属面および固形の高密度物質の近くにアンテナを取り付けた場合、無線装置の有効範囲に影響が与えます。

- 無線信号を吸収または反射するような「障害物」が無線の信号経路内にある場合にも、有効範囲に影響が出ます。

一覧表示される有効範囲は、屋内の「オフィス環境」で使用する場合の一般的な有効範囲を示します。オフィス環境には、次のものがあります。

- オープンオフィス環境：アンテナがお互いに「見える」状態にあり、アンテナとアンテナの間に物理的な障害物がない。
- セミオープンオフィス環境：作業領域が肩の高さのパーティションで分割され、アンテナが机の高さに設置されている。
- クローズドオフィス環境：作業領域が、床から天井まで壁で区切られている。

付録 B

トラブルシューティング

概要

この付録の各セクションでは、次で示すトラブルシューティングのヒントを説明します。

1. 一般的なトラブルシューティングのヒント：
 - ネットワークに接続できない場合 (B-5 ページ)。
 - 構成プロファイルを編集できない (B-10 ページ)。
 - LED が作動するのにネットワークに接続できない場合 (B-6 ページ)。
 - 構成プロファイルを編集できない (B-10 ページ)。

2. Windows 98/ME のトラブルシューティングのヒント (B-11 ページ) :
 - ドライバのアップデート (B-11 ページ)。
 - ドライバの削除 (B-15 ページ)。
3. Windows 2000 のトラブルシューティングのヒント (B-19 ページ) :
 - ドライバのアップデート (B-19 ページ)。
 - 既存の WL215 無線 USB ドライバの削除 (B-20 ページ)。

一般的なトラブルシューティングのヒント

LED の動作

無線製品の使用／インストールのときに問題が生じた場合、そのエラーにはさまざまな原因が関与している可能性があります。

- 圏外のため、WL215 がネットワークと無線接続を確立できない。
- 構成が不適切であるため、WL215 が (適切な) ネットワークとの無線接続を確立できない。

- 11Mbps無線LANドライバが存在しないか、または競合している。
- WL215 コネクタの問題または競合によって WL215 に電源が投入できない。
- 11Mbps 無線 LAN ハードウェアと他の装置が競合している

WL215 の問題の解決にあたっては、まず WL215 の LED の動作を確認します。

B-3 ページ表 B-1 では、さまざまな動作モード、および各モードと関連する LED の動作の概要を示します。また、問題の解決に役立つトラブルシューティングのヒントも記載されています。

表 B-1 LED 状態表

⏻ 電源	📶 無線	解説／処置
緑の常時 mp 点灯	点滅	標準的な動作モード <ul style="list-style-type: none"> • WL215 に電源が投入されている • 無線データを感知／送信中
	消灯	<ul style="list-style-type: none"> • WL215 に電源が投入されている • 無線動作なし 処置の必要なし

⏻ 電源	📶 無線	解説／処置
消灯	消灯	<p>WL215 に電源が投入されていないため、データを送受信できない USB ケーブルが正しく接続されていないことが原因と考えられる</p> <p>処置：</p> <ul style="list-style-type: none"> • USB ケーブル接続を確認する。 • WL215 の装置の設定を確認して、他の装置との競合が発生していないかどうかを調べる。競合が発生している場合は、WL215 または競合する装置の設定を変更して問題を解決する • ドライバのバージョン、および WL215 の内蔵ソフトウェア（ステーションファームウェア）のバージョンを確認する。 • Web サイト：http://www.compaq.com/support/files/networking/wlan/ を参照して、新しいバージョンがリリースされている場合には、内蔵ソフトウェアおよびドライバを最新バージョンにアップグレードする。

🔌 電源	📶 無線	解説／処置
赤色	赤色	起動時は正常に動作するが、起動診断が表示される。この LED ステータスは数秒で終了し、Windows によって正常にドライバがロードされた後は表示されません。
橙色、または緑色	赤色	装置のエラー。正規の代理店またはテクニカルサポートにお問い合わせください。

ネットワークに接続できない場合

WL215 無線 USB が正常に作動しているにもかかわらず、ネットワークに接続できない場合、構成が不適切なためのエラーである可能性があります。

たとえば、WL215 の両方の LED が 10 秒ごとに点滅する場合、次のような構成の不具合が原因であると考えられます。

- ネットワーク名（この値は大文字と小文字を区別しません）

- 暗号化キー

他に、次の原因が考えられます。

- ドライバがロードされていない

- 端末装置がネットワークへのアクセスを許可されていない

- WL215 の欠陥

LED が作動するのにネットワークに接続できない場合

ネットワークが正常に動作していることが LED に示される（電源 LED が点灯、送受信 LED が点滅）にかかわらず、ネットワークに接続できない場合、ネットワークの TCP/IP 設定が適切でない可能性があります。

TCP/IP 設定の変更

ご使用の TCP/IP 設定の値を LAN 管理者にお問い合わせください。

TCP/IP 設定を変更する手順

1. Windows のタスクバーで [**スタート**] ボタンをクリックします。
2. [**設定**] を選択してから [**コントロール パネル**] を選択します。
3. [**コントロール パネル**] ウィンドウで、[**ネットワーク**] アイコンをダブルクリックして、[**ネットワーク プロパティ**] を参照します。
4. インストール済みのコンポーネントのリストで、TCP/IP->Compaq WL215 USB アダプタプロトコルがインストールされていることを確認します。

- このプロトコルがインストールされていない場合、[追加] ボタンをクリックして、リストから [TCP/IP] プロトコルを選択します。詳細については、Windows のヘルプを参照してください。
 - このプロトコルがインストールされている場合、プロトコルを選択して [プロパティ] ボタンをクリックします。パラメータが LAN 管理者によって指定された設定と一致しているかどうか確認します。必要に応じて設定を変更し、[OK] をクリックします。
5. プロンプトが表示されたら、コンピュータを再起動します。

ピアツーピアネットワークの静的 IP アドレス

静的 IP アドレスを持つネットワークでは、ネットワーク管理者は各コンピュータに手動で IP アドレスを割り当てることができます。IP アドレスが割り当てられると、[ネットワークのプロパティ] ダイアログボックスで、手動で IP アドレスを変更しない限り、コンピュータを起動し、ネットワークへログオンするたびに同一の IP アドレスを使用します。静的 IP アドレスを使用するネットワークの設定は簡単で、追加のネットワーク管理ソフトウェアは必要ありません。

ピアツーピアネットワーク環境は、簡単ですので**静的 IP アドレス**に最も適しています。

また、ピアツーピアネットワークでは、通常 DHCP サーバーはあらかじめネットワークに設定されていません。

静的 IP アドレス TCP/IP 設定の構成

注：この IP 構成は、DHCP サーバーがインストールされていない無線ネットワークのみに適用します。

1. デスクトップの**[ネットワーク コンピュータ]**を右クリックしてください。
2. ポップアップメニューの**[プロパティ]**をクリックして、**[ネットワーク プロパティ]**ダイアログボックスを表示します。
3. **[Configuration]** タブをクリックし、次に **[TCP/IP Compaq WL215 USB Adapter]** をクリックします。
4. **[プロパティ]** をクリックして、**[TCP/IP プロパティ]** ダイアログボックスを表示します。

[IP アドレスを指定] オプションが選択されていることを確認します。

注：私的 IP アドレスに従って、**255.255.255.0** のサブネットマスクと合わせて、**192.168.0.1** から **192.168.0.254** の IP アドレスを使用できます。

- ネットワーク内の各コンピュータは、一意の IP アドレスを持っている必要があります。最初のコンピュータには、**192.168.0.1**、次のコンピュータには **192.168.0.2** といった順で値を割り当てるのが最善です。
 - ネットワーク内のすべてのコンピュータは、同一のサブネットマスクの値 **255.255.255.0** を使用する必要があります。
5. **[OK]** をクリックして、**[ネットワークプロパティ]** ダイアログボックスに戻ります。
 6. **[識別情報]** タブをクリックします。
 - a. **[コンピュータ名]** フィールドに、コンピュータを識別するための一意の名前を入力します。

ネットワーク内の各コンピュータは、一意のコンピュータ名を持っている必要があります。
 - b. **[ワークグループ]** フィールドにワークグループ名を入力します。この名前は、無線ネットワーク内のすべてのコンピュータで同一のものにします。

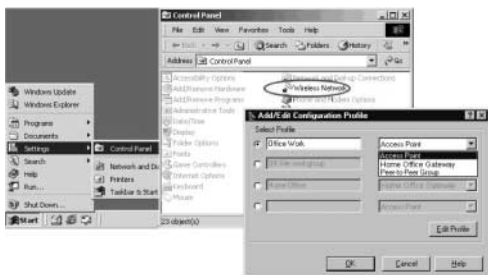
- c. **[コンピュータの説明]** フィールドに、コンピュータの詳細説明を入力できます。
7. **[OK]** をクリックして完了します。**[Yes]** をクリックして、新しいネットワーク設定でコンピュータを再起動します。

構成プロファイルを編集できない

WL215 無線 USB の構成プロファイルを追加／編集するとき、**[Client Manager]** アイコンが表示されない場合は、次の操作を行います。

- **Client Manager** が動作していない場合、**[スタート]** メニューから **[プログラム]**、**[Compaq Wireless LAN]** の順に選択してから、**[Client Manager]** を選択して **Client Manager** を起動します。
- **Client Manager** がインストールされていない場合は、次の操作を行います。
 1. **[スタート]** メニューで **[設定]** を選択してから、**[コントロールパネル]** を選択します。
 2. **[コントロールパネル]** ウィンドウで **[Wireless Network]** アイコンをダブルクリックして、図 B-1 に示される **[Add/Edit Configuration Profiles]** ウィンドウを表示します。

図 B-1 : WL215 無線 USB 設定の表示／変更



Windows 98/ME のトラブルシューティングのヒント

ドライバのアップデート

次のいずれかの状況で、11Mbps 無線 LAN ドライバのアップグレードが必要になる場合があります。

- WL215 の新しい機能を使用する場合
- Client Manager ツールの新しいバージョンをインストールした場合

- Client Manager の「カード診断」で、ドライバとファームウェアの不一致が報告された場合

注意： ドライバのアップグレードは、Windows 98/ME オペレーティングシステムについて実用的な知識を持つ、熟練した LAN 管理者またはサポート技術者のみが行うようにする必要があります。

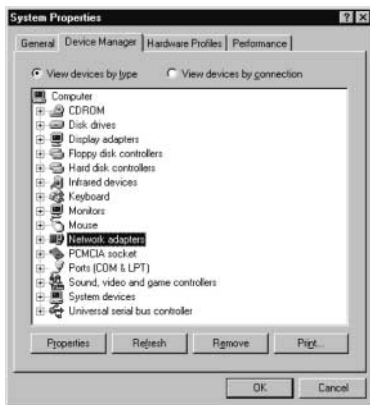
Windows 98/ME システムには「ドライバのアップデート」機能が用意されており、現在のドライバを新しいバージョンに簡単に変更することができます。

ドライバのアップデート

1. Windows タスクバーで、[スタート] ボタンをクリックします。
2. [設定] をクリックして、[コントロール パネル] を選択します。
3. [コントロール パネル] ウィンドウで、[システム] アイコンをダブルクリックします。
4. [システムのプロパティ] ウィンドウで、[デバイス マネージャ] タブを選択します。
5. 図 B-2 に示されるように、[デバイス マネージャ] タブの上部で [種類別に表示] オプションを選択します。

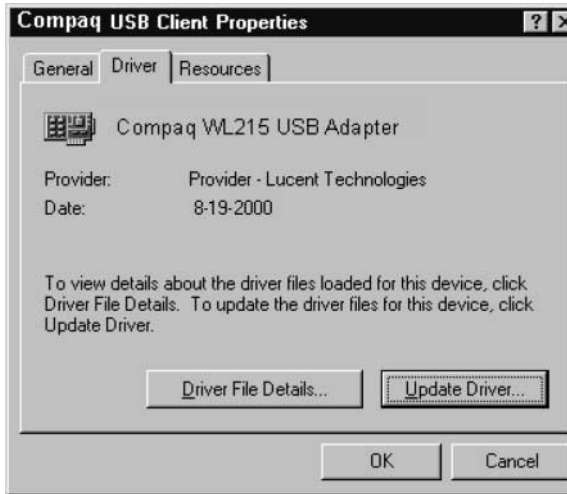


図 B-2 : Windows 98[デバイス マネージャ] タブ



6. コンピュータデバイスのリストで、[ネットワーク アダプタ] をダブルクリックします。
7. [コンパクト WL215 USB アダプタ] を選択して、[プロパティ] ボタンをクリックします。
8. [WL215 のプロパティ] ウィンドウで [ドライバ] タブを選択して、図 B-3 に示されるウィンドウを表示します。

図 B-3 : Windows 98[ドライバの更新] ウィンドウ



- 現在インストールされているドライバに関する情報を表示するには、[**ドライバ ファイルの詳細**] ボタンをクリックします。
- 現在のドライバを新しいバージョンにアップグレードするには、[**ドライバの更新**] ボタンをクリックして、画面に表示される指示に従います。

9. コンピュータを再起動すると、ドライバのアップグレード手順が終了し、オペレーティングシステムによって新しいドライバがロードされます。
10. (オプション) Client Manager プログラムのアップグレード

ドライバの削除

1. 現在開いているアプリケーションをすべて閉じます。
2. Windows タスクバーで、[スタート] ボタンをクリックします。
3. [設定] をクリックして、[コントロール パネル] を選択します。
4. [コントロール パネル] ウィンドウで、[ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。
5. [コンパクト WL215 無線 USB アダプタ] を選択して、[削除] ボタンをクリックします。



Windows オペレーティングシステムでは、ドライバが無効になり、ドライバ構成ファイルがアップデートされます。このとき、ドライバはコンピュータのハードディスクから削除されません。

このため、WL215 を再び挿入すると、Windows オペレーティングシステムによって、同じドライバファイルが再び有効になります。

6. [システム設定の変更] というプロンプトが表示されたら、次のいずれかを選択します。
- ドライバと構成ファイルをハードディスクに残してよい場合は、[Yes] をクリックします。再起動すると、ドライバを無効にする手順が終了します。
 - ハードディスクから物理的にドライバを削除する場合は、[No] をクリックします。通常、Windows 98 / ME オペレーティングシステムでドライバをアップグレードする場合、この操作が必要です。

ドライバとその情報および構成ファイルをハードディスクから削除するには、「11Mbps 無線 LAN ドライバファイルの削除」で説明する手順に従ってください。

11Mbps 無線 LAN ドライバファイルの削除

ハードディスクからドライバファイルを物理的に削除する手順は、すべての Windows オペレーティングシステムに共通しています。

注意： ハードディスクからファイルを削除する前に、B-15 ページで説明する手順に従って、まずドライバを削除することが重要です。この手順に従わなかった場合、Windows オペレーティングシステムによって Windows レジストリがクリーニングされないため、後でドライバを再インストールするときに問題が生じる可能性があります。

1. エクスプローラを起動します。
2. エクスプローラのメニューで[表示]をクリックして、[フォルダ][オプション]を選択します。
3. [表示]タブで[すべてのファイルを表示]を選択して、[登録されているファイルの拡張子は表示しない]チェックボックスをオフにします。
4. [適用] ボタンをクリックして、[エクスプローラ] ウィンドウに戻ります。
5. [エクスプローラ] ウィンドウに戻り、Windows のフォルダ「C:¥windows¥system」を開きます。
6. 次のドライバファイルを削除します。

- wccomxx.exe
- wicomxx.dll
- wlcomxx.sys
- wncomxx.cpl
- wucomxx.vxd
- wncomxx.hlp
- wncomxx.cnt

7. 次に、「inf」ファイルを削除します。

削除するファイルは、フォルダ「c:\windows\inf\other」から「Compaq Computer Corporation WLCOMxx.INF」

8. エクスプローラを終了し、コンピュータを再起動します。

「ドライバのアップグレード」作業の一環として、ドライバファイルを削除する場合は、2-1 ページ「WL215 無線 USB のインストール」に説明されるように、新しいドライバを（再）インストールできます。

Windows 2000 のトラブルシューティングのヒント

ドライバのアップデート

次のいずれかの状況で、WL215 無線 USB ドライバのアップデートが必要になる場合があります。

- WL215 の新しい機能を使用する場合
- Client Manager ツールの新しいバージョンをインストールした場合
- Client Manager の「カード診断」で、ドライバとファームウェアの不一致が報告された場合

注意： WL215 ドライバのアップデートは、Windows 2000 オペレーティングシステムについて実用的な知識を持つ、熟練した LAN 管理者またはサポート技術者のみによって行うようにする必要があります。

以前にインストールした WL215 ドライバをアップデートするには、次の操作を行います。

1. Windows 2000 オペレーティングシステムから既存の USB Client ドライバを削除します。既存の WL215 無線 USB ドライバの削除。

2. 2-6ページ”ドライバのインストール”の説明に従って、ドライバを（再）インストールします。

注：MS-Windows 2000 の [WL215 のプロパティ] ウィンドウには、特殊な更新ボタンが表示されますが、このボタンによってすべてのドライバファイルが完全にアップデートされるとは限りません。このため、コンパックでは、ドライバを削除して再インストールすることを推奨します。

既存の WL215 無線 USB ドライバの削除

1. WL215 無線 USB がコンピュータの WL215 無線 USB コネクタに挿入されていることを確認します。
2. Windows のデスクトップで、[マイ ネットワーク] アイコンを右クリックして、ポップアップメニューから [プロパティ] を選択します。
3. [ネットワークとダイヤルアップ接続] ウィンドウで、[ローカルエリア接続] アイコンを右クリックして、ポップアップメニューから [プロパティ] を選択します。
4. 次に、[構成] ボタンをクリックして、[WL215 のプロパティ] ウィンドウを表示します。

5. [ドライバ] タブを選択して、[削除] ボタンをクリックし、WL215 ドライバの削除を完了します。
6. 最後に、WL215 をコネクタから外して、2-6 ページ”ドライバのインストール”で説明される指示に従います。

図 B-4 : WL215 無線 USB ドライバの削除

